



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

# JAHISにおける 医療DX推進、標準化の取り組み

2026年6月

保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)

標準化推進部会

光城 元博

# 第30回日本医療情報学会春季学術大会 COI開示

**演題名： JAHISにおける医療DX推進、標準化の取り組み**

**筆頭演者名： 光城 元博**

**私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません。**

保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)

運営幹事(事業推進部担当)

標準化推進部会 副部長、 国内標準化委員会 副委員長

地域医療システム委員会 副委員長、 医療介護連携WG リーダ

電子情報技術産業協会(JEITA) ヘルスケアIT研究会 主査

日本画像医療システム工業会(JIRA) 税負担控除検討委員会 委員長

上級医療情報技師、 上級医療情報技師育成指導者

診療情報管理士

日立製作所 (2001年～2021年)、富士フイルム (2021年～)

- ✓ JAHISのDX推進：業界ワンボイスで政策協力、人材育成
- ✓ 標準化活動：HELICSへの提案、普及向け「オーバービューチャート」
- ✓ 医療標準で実現したい社会：JAHISビジョン「データ循環型社会」
- ✓ データ循環型社会の実現に向けた課題：国民啓発、多職種連携

## JAHIS(略称:ジェイヒス)

### 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会

( Japanese Association of Healthcare Information System industry )

#### 設立目的

- 標準化の推進、技術の向上、品質および安全性の確保
- 産業界の健全な発展と国民の保健・医療・福祉に寄与

#### 事業内容



**標準化の推進**とその普及への技術的視点からの参画



業界の健全な発展を目的とする**政策・制度等に関する意見具申**



**政府の政策への協力**(委託事業、補助事業等)



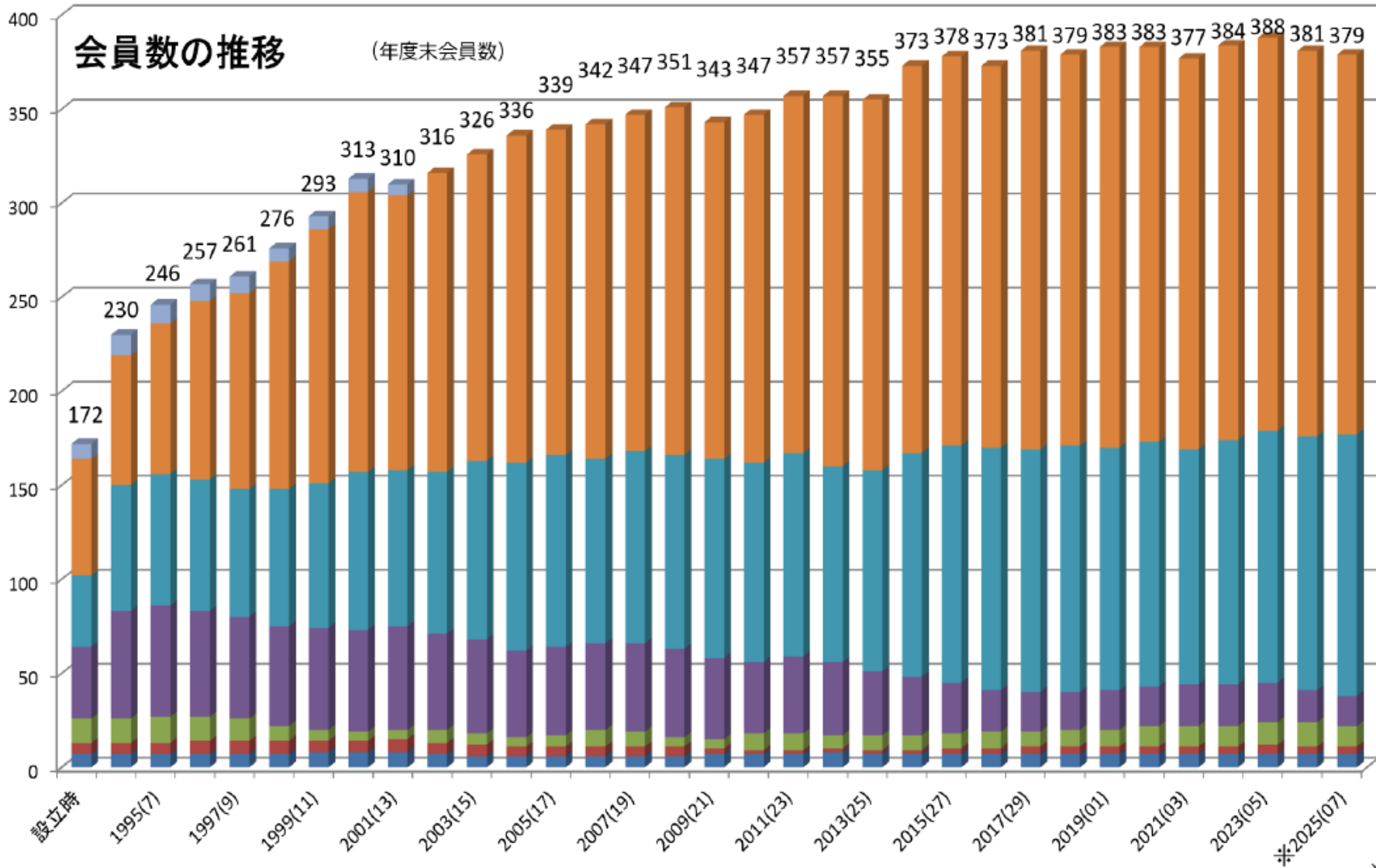
研究会、講演会、展示会開催を通じた**知識の交流と普及**



海外との交流、国際協調の推進



保健医療福祉情報システム工業統計の整備



- G会員 注
- F会員
- E会員
- D会員
- C会員
- B会員
- A会員

会員会社数  
**379**社

※2026/1/1時点

注：G会員は  
2001(13)年度まで

※2026/1/1現在

- 現在、JAHISが厚生労働省、デジタル庁等と連携しながら進めているプロジェクトは以下の通りです。
  - (1) 電子処方箋
  - (2) 電子カルテ情報共有サービス、介護情報基盤
  - (3) 診療報酬改定DX
  - (4) 感染症届け、予防接種事務のデジタル化 など
- 上記の関係省庁との足並みそろえた活動以外にも、医療情報システム入門コースやセキュリティ関連セミナー、データ利活用勉強会、行政施策勉強会など、年間を通して開催しており、人材育成に努めております。



- ✓ 3年毎に改定。2026年1月に第8版を出版。
- ✓ 内容は「医療業界・IT業界の市場動向」や「電子カルテ」「部門システム」「セキュリティ」「標準化」など幅広く網羅。
- ✓ 各単元を担当する委員会の委員長クラスが執筆しており、書籍名は「入門」ですが、内容はプロ級であり、実務的。
- ✓ 巻頭言は、JAMI代表理事の横井先生に御執筆頂いた。

## 標準化推進部会の活動状況

標準化推進部会では、医療情報の標準化推進を目指して、

JAHIS標準類の制定

患者安全や国際標準関連でのJAHIS内外の関連組織との連携

標準類の普及推進に向けた取り組み

医療安全の規格開発、整合、普及推進

として、以下の活動を実施した。

-国内標準化委員会

-国際標準化委員会

-普及推進委員会

-安全性・品質企画委員会

## 主な活動

- JAHIS標準類の制定（JAHIS標準:4件／技術文書:1件）
- JAHIS標準類の制定等に関する規程、テンプレート、ガイドライン等の整備
- HELICS協議会活動への参画（理事・委員を派遣）
- 国際会議への参加（ISO/TC215、HL7、HIMSS、RSNA、DICOM、IHE等）
- 国際標準類への投票（ISO/TC215、DICOM、IHE等）
- 標準類の普及推進を担う人材の育成（セミナー等）
- 「標準類オーバービューチャート」の改版検討
- プロジェクトへの参画、国際投票（ISO、IEC）、リスクマネジメント教育

JAHISでは、作成する標準類を下記の2区分に分けて制定しています。

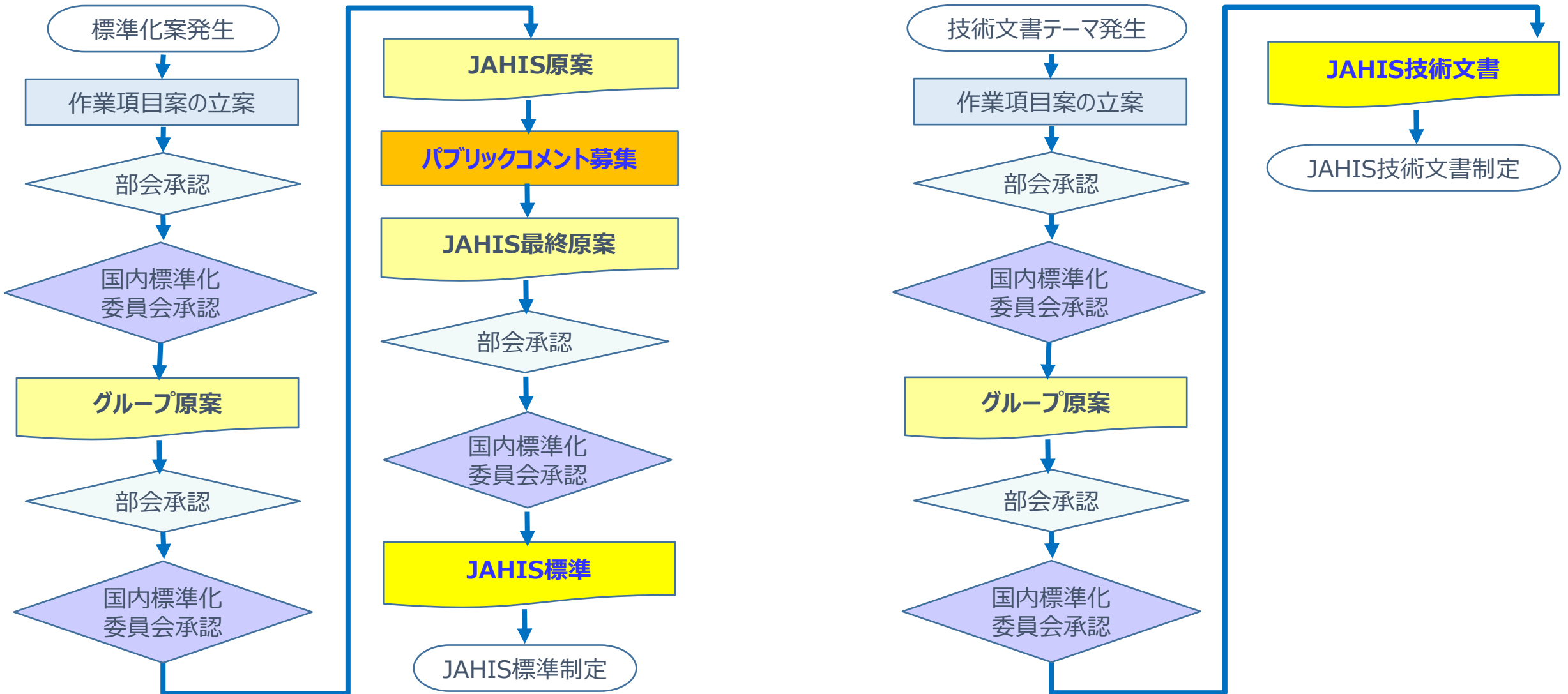
- (1) **JAHIS標準** …… 技術的標準として定めた文書
- (2) **JAHIS技術文書** …… JAHIS標準に準ずる文書

## JAHIS規程3001号「JASHIS標準類の制定等に関する規程」

### 第7章 JAHIS標準の医療情報標準化推進(HELICS)協議会への提案等

(JAHIS標準の登録提案)

第50条 我が国の医療情報標準化等の推進のために広く普及が望まれる  
**JAHIS標準**については、**医療情報標準化推進協議会へ指針等  
として登録提案することができる。**



## HELICS指針になったもの

#	題名	最新 Ver.
HS012	JAHIS臨床検査データ交換規約	Ver. 5.0C
HS016	JAHIS放射線データ交換規約	Ver. 3.2C
HS022	JAHIS処方データ交換規約	Ver. 3.0C
HS040	「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド*	Ver. 5.0

\*「製造業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドは、JIRAとJAHISが合同で作成

【凡例】

コード/マスタ  
(HS xxx)

規約/仕様  
(HS xxx)

規約/仕様  
(HS xxx)(xx-xxx)

規約/仕様  
(xx-xxx)

厚生労働省標準規格

JAHIS標準

## 電子カルテシステム

医薬品HOT コードマスター (HS 001)	ICD10対応 標準病名マスター (HS 005)	臨床検査マスター (HS 014)
JJ1017 (HS 017)	患者状態アウトカム 用語集ベーシックマスター (HS 029)	標準歯式 コード仕様 (HS 033)
口腔診査情報 標準コード仕様 (HS 034)	データ入力用書式 取得・提出に関する 仕様(HS 030)	処方・注射オーダ 標準用法規格 (HS 027)

JAHIS技術文書はこちらをクリック

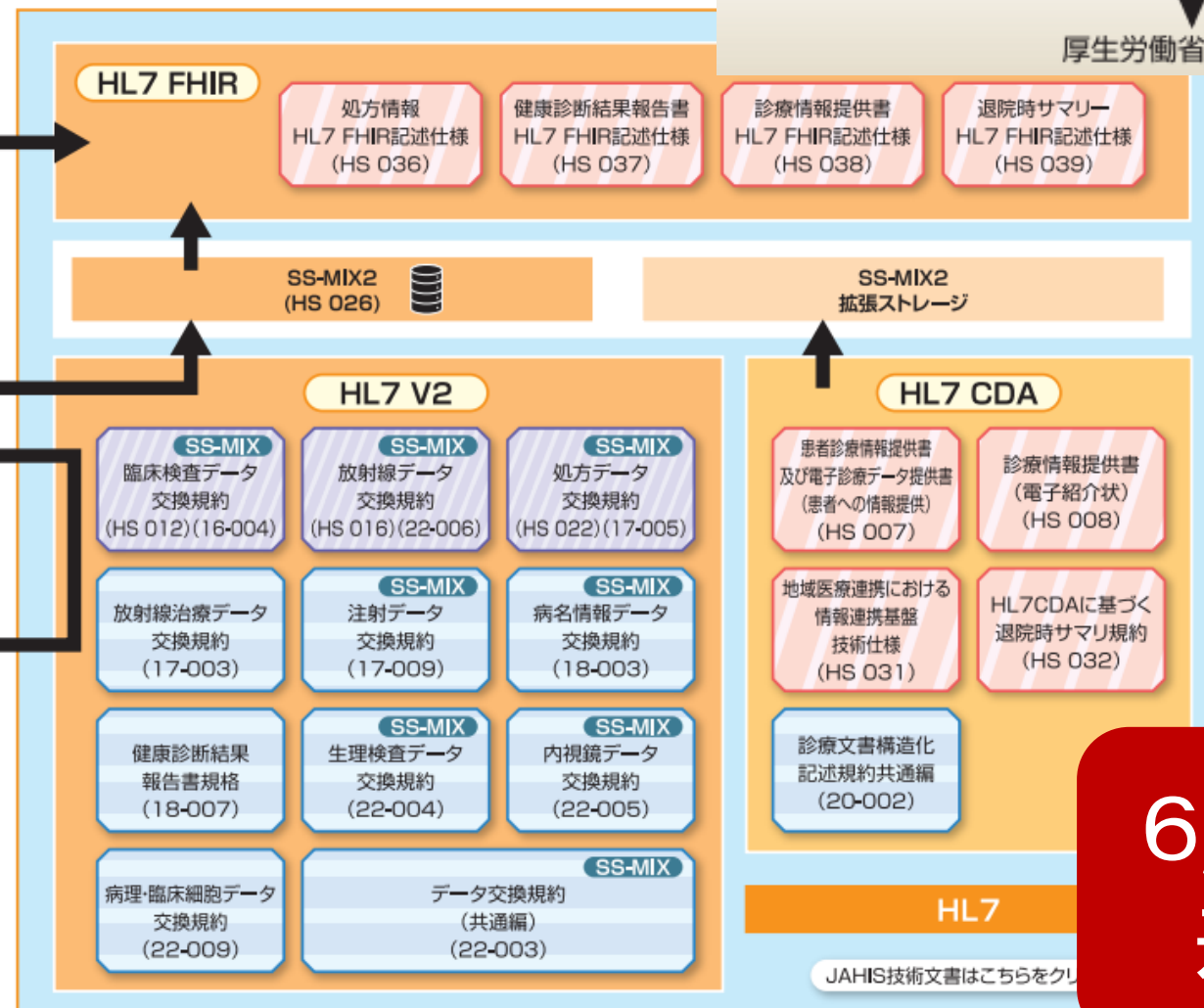
## 診療支援システム群

可搬型医療画像 (HS 009)	DICOM (HS 011)	医療波形 フォーマット (HS 028)
医療放射線被ばく 管理統合プロファイル (HS 035)		
内視鏡DICOM 画像データ規約 (18-005)	病理診断レポート 構造化記述規約 (20-004)	病理・臨床細胞 DICOM画像 データ規約 (22-008)

## 共通 / ガイドライン等

「製造業者/サービス 事業者による医療情報 セキュリティ開示書」ガイド (20-005)	HPKI電子認証 ガイドライン (14-005)	地域医療連携における 経過記録構造化 記述規約 (17-007)	HPKI対応ICカード ガイドライン (18-001)	シングルサインオンにおける セキュリティガイドライン (18-004)	ヘルスケアPKIを利用した 医療文書に対する 電子署名規格 (18-006)	ヘルスケア分野における 監査証跡のメッセージ 標準機業 (21-001)	リモートサービス セキュリティガイドライン (22-001)	保存が義務付けられた 診療録等の 電子保存ガイドライン (22-007)
---	--------------------------------	---	-----------------------------------	---	---	---	--------------------------------------	---

JAHIS技術文書はこちらをクリック



## データ活用

- PHR
- 災害時 活用
- 地域医療 連携
- 2次利用

6/10最新版に  
差替え予定

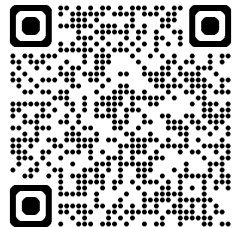
JAHISが発足した1994年からまもなく、何の目的で創立したのか、どの方向へ向かっていくべきかの道標として作成したのが始まりです。

## 【JAHISの求めるビジョンの目的】

- ① 国民のために真に役立つ保健医療福祉情報システムのビジョンを内外に提示すること
- ② 保健医療福祉情報システムのビジョンを元に、関連団体・関連機関と議論・討論を活性化し、社会全般の情報化推進活動との整合性を図ること
- ③ ビジョン実現に向けてJAHIS各委員会活動の目標設定や活動の指針とすること

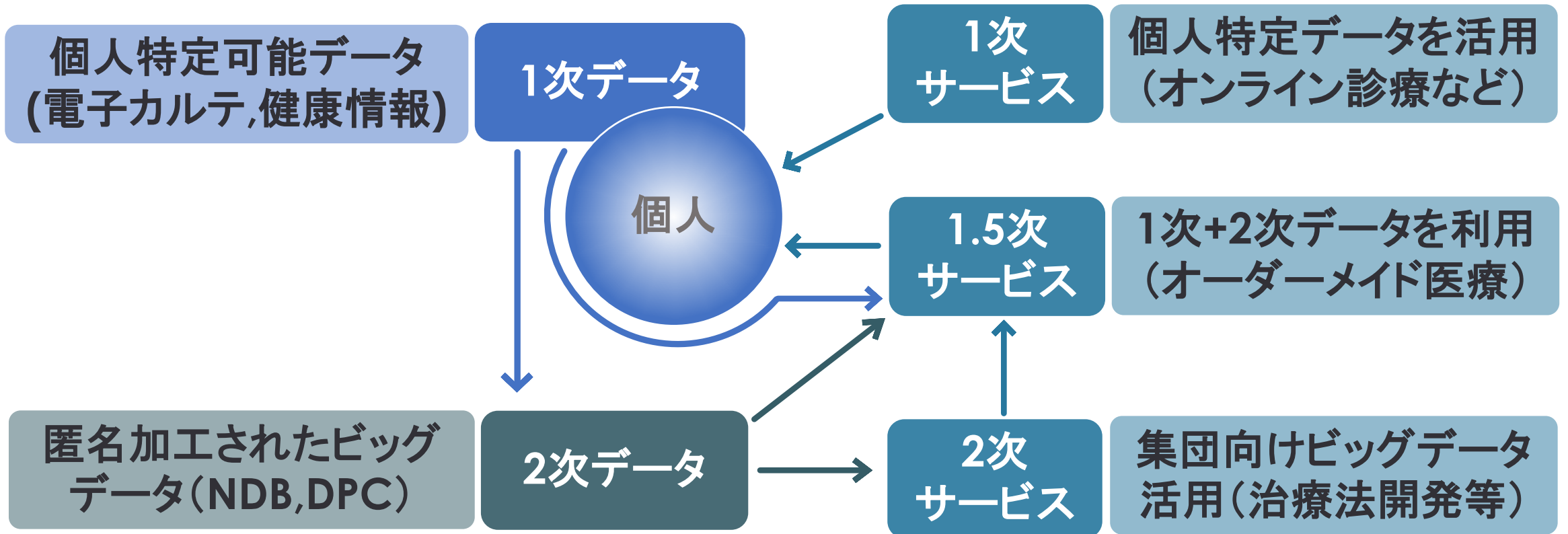


JAHISビジョン | 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会



## 国民1人1人に恩恵を還元する「データ循環型社会」

- 個人発生の健康・医療・介護データをエビデンスとして活用
- サービスを個人へ還元し、社会全体に循環



JAHISは「**データ循環型社会**」の理念をより多くの方々に知っていただくため、絵本を作成しました。絵本の中では「みんなでデータを出し合い、使いやすく整理し。みんなで役立つ」ことが、こどもたちにもわかりやすく表現しました。お子さんと一緒に「ぐるぐるデータ（**データ循環型社会**）」について考える機会を持ち、未来への希望を育むことを願っています。

⇒こどもに絵本を読み聞かせることで  
親世代・祖父母世代も  
「**データ循環型社会**」を理解できる。



5/22、製薬協 医療情報DB活用推進TFを講師に招いた勉強会、意見交換会を実施

## 製薬企業の課題

- ・成功率は年々低下（10年前は1/13,000→現在は1/25,000）
- ・1社あたりの研究開発費の上昇（621億円/2004年→1,414億円/2017年）
- ・新薬の上市に必要な開発費（海外）約1,700億円（2014）年

## 製薬企業から見た、RWDの可能性

- ・臨床試験では対象外の超高齢者、小児、妊産婦の成績確認
- ・MA(Medical Affairs)への活用。アンメットメディカルニーズの発掘、有効性・安全性情報の収集・分析（無作為化臨床試験：2年→RWD：1～2時間）

## RWD利活用の課題

- ・標準化、構造化されておらず、欠損、偏りがあるデータ。
- ・商用DBは交絡因子が分からない。一部検査結果はあるが、アウトカムが見られるのは少ない
- ・標準マスタは、作ったあとの更新が問題（だれがやる？、更新頻度は？ 資金は？）
- ・構造化のためにテンプレートを準備しても、コメント欄にフリーテキストで入力されてしまう
- ・病理検査データが欲しいが、部門システムにあるため、取得できない。
- ・大病院に偏り。中小病院の体力や実装の困難さを考えると、拘束力の線引きが難しい。
- ・次世代基盤法DBは、医療機関間のデータ紐づけが無い。死亡情報が無い。
- ・データづくりを担う、医療情報部や若い医師の労力に対するインセンティブ

## 今後の可能性

- ・PHRの可能性。体重、正確な服薬歴（飲み忘れを医師に言えない）
- ・生成AIによる標準化・構造化の進展と、10年後を見据えた標準化の在り方。

- ✓ JAHISのDX推進：業界ワンボイスで政策協力、人材育成
- ✓ 標準化活動：HELICSへの提案、普及向け「オーバービューチャート」
- ✓ 医療標準で実現したい社会：JAHISビジョン「データ循環型社会」
- ✓ データ循環型社会の実現に向けた課題：国民啓発、多職種連携